

介護業務の注意点

口腔ケア



口腔ケアを行ううえで

口腔ケアが不十分だと、口腔内が不潔になり、誤嚥性肺炎を生じる可能性があります。口腔ケアでは飛沫がでることがあるので、実施には注意が必要です。できるだけ防護具を着用しましょう。



口腔清掃時の注意点

- ・可能な方は、清掃前に殺菌消毒剤で洗口してもらいます。
- ・なるべくセルフケアを可能な範囲で行ってもらいます
- ・介助みがきを行う時は、不織布マスク・手袋は必ず装着します。ガウン・エプロン・フェイスシールドの使用も望ましいです。
- ・義歯を装着している場合は、注意深く外します。
(乱暴に行うと歯を傷めます)
- ・ブラッシングは細かくブラシを動かし飛沫を減らしましょう。
- ・水を使うと、汚れが喉の奥に流れ込んで誤嚥するリスクがあるうえに、誤嚥や飛沫が周囲に飛び散るリスクが増えます。口腔内を保湿剤で潤すと粘膜を傷つけにくいです。
- ・口腔内が乾燥している場合は、歯科医師に相談しましょう。
- ・口腔ケア後は十分な換気をしましょう。
- ・個人防護具除去後の手指衛生は確実にいきましょう。

義歯の洗浄

- ・外した義歯は飛沫を生じないように清掃しましょう。
- ・基本的には、夜間は外し、水または義歯洗浄剤を使用し、患者ごとに保管しましょう。
- ・義歯の管理は歯科医師・歯科衛生士の指導の下に行いましょう。



口腔清掃や義歯の洗浄については、学会HPに動画を準備中です